



# あびら地域公共交通だより

令和3年12月6日発行

第2号

～地域公共交通計画の策定のための調査を実施しました～

## はじめに

町では、地域住民にとってより使いやすく持続可能な公共交通となるよう、第2期計画にあたる安平町地域公共交通計画（R4～R8）の検討・策定作業を行っています。

今号では、公共交通の実態や課題を把握するために実施した、9月の住民アンケート、10月の住民意見交換会（全5回）の結果速報版がまとまりましたので、その概要をお知らせします。今後、7月の乗降者調査も含めた調査結果を参考に計画策定に向けて検討を進めます。

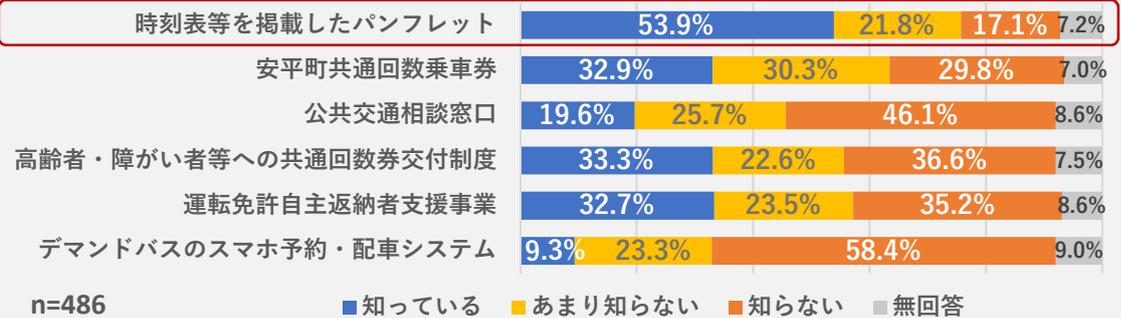
## アンケート調査の結果概要

町の公共交通の課題やニーズを幅広く把握することを目的に、15歳以上の町民を対象としたアンケート調査を実施しました。

配布日：令和3年9月4日 配布数：3,544票 回収数（回収率）：486票（13.7%）

回答者の過半数が高齢者です。公共交通の取り組みのうち、第1期計画に基づき導入した『時刻表等を掲載したパンフレット』の認知度が特に高くなっています。

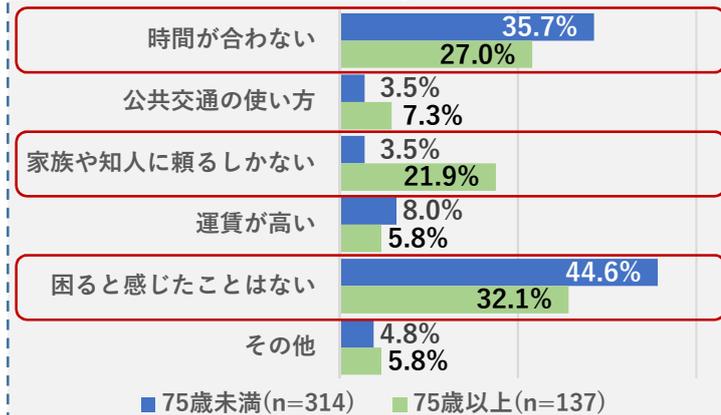
### 公共交通の取り組みの認知度



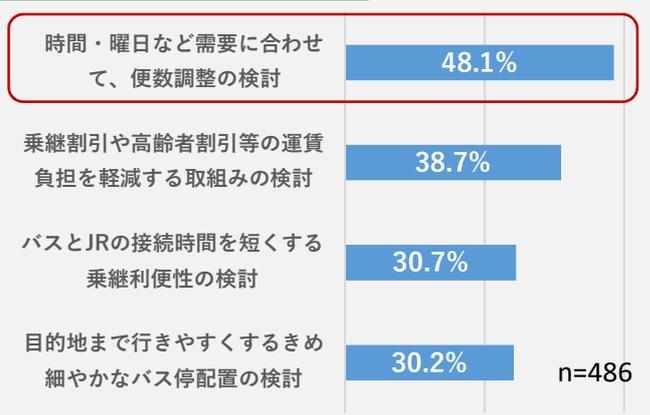
### 回答者の年齢



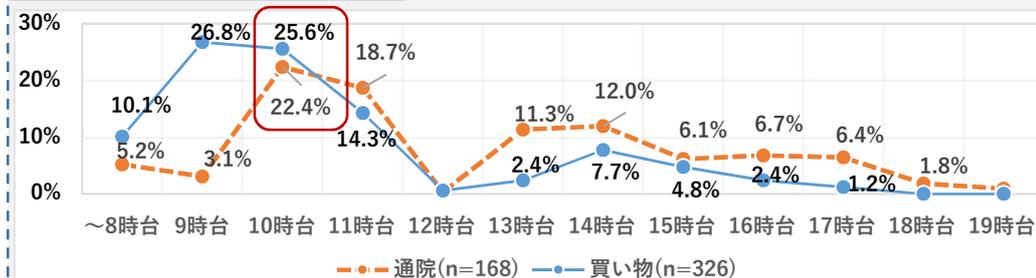
### 外出の際に移動で困っている事



### 優先すべき施策（上位4つ）



### 通院・買い物先に到着する時間



外出の際、公共交通の時間が合わない、家族等に頼るしかない（特に高齢者）という方たちがいます。通院・買い物の時間帯は10時台を中心に午前中の移動が多く、実態に合わせた公共交通サービスの検討が必要です。

# ■ 地域別の意見交換会を実施しました

## 実施概要

### 目的

地域住民の皆様の公共交通の利用状況や地域公共交通の現状について知ってもらう機会の提供、公共交通の利用に際しての課題を把握し、解決策を検討するための情報収集を目的として意見交換会を実施しました。

### 参加者

地域公共交通に興味・関心のある地域住民の方

### 開催地

安平地区、追分地区、早来地区、遠浅地区の各地区（全5回）

### 実施期間

令和3年10月6日（水）～10月22日（金）

### 参加人数

延べ43名



## 意見交換結果の概要

町外に出る際はJRやあつまバス、町内移動では循環バスやデマンドバスを利用している等、現状上手く活用しているという声があるなか、まだまだデマンドバスをはじめとする公共交通について知られていない状況や荷物の混載、曜日を分けての運行などの新しいニーズを把握することができました。

### JRについて

- ・ 苦小牧や千歳など町外に移動するときを使う。
- ・ ホームの階段の上り下りが大変。
- ・ あつまバスなど、他の公共交通と接続時間がわからない。

### あつまバスについて

- ・ 町外に行く場合、早来駅まで遠いのでバス停が近いあつまバスを使う。
- ・ 沼ノ端に通院するときはあつまバスを使う。

### 循環バスについて

- ・ そもそもどこをいつ走っているか、知らない。
- ・ 早来市街地の停留所から商店までが遠く、使いづらい。
- ・ 特定の曜日に分けてもいいので運行間隔を短くしてほしい。
- ・ 人以外に物（例：道の駅への納品物）も運べると良い。
- ・ フリー乗降（手上げで乗り降りできる）区間を拡充してほしい。

### デマンドバスについて

- ・ 予約制だと予定を変更しづらい。
- ・ スマートフォンでの予約は高齢者には難しい。
- ・ 土日にもパークゴルフ等のために運行してほしい。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策として、できれば相乗りは避けたい。
- ・ デマンドバスについて、そもそもどういうものかわからない。
- ・ デマンドバスとJRとの接続が良くない。

### ハイヤーについて

- ・ 便利で緊急時も使えるが、通常時や駅からの乗り継ぎには料金が安い。
- ・ 1台しか運行していないため、乗りたいときに乗ることができない。
- ・ 先に値段がわかるハイヤーだと安心して使える。
- ・ 高齢になったときの自動車事故リスクも考え、利用を検討している。
- ・ 乗り合えば安く乗れると思う。

### 利用促進について

- ・ 乗り方講座を開いてほしい。
- ・ 実際に使っている人から話を聞いてみたい。
- ・ 広報紙などの言葉や表現がわかりにくい。
- ・ ツアーや割引デーなどを設定してほしい。
- ・ 現在の運行状況が見えるようにしてほしい。

### その他

- ・ すべてのスクールバスで一般利用できるような仕組みがほしい。
- ・ 土日や金曜の夜の公共交通の運行を充実させてほしい。
- ・ 将来は自動運転にすべて任せてもよいと考えている。
- ・ 老人クラブ主体で試乗体験会を企画したい。